

平成30年 署・業種別死亡災害発生状況

(平成31年4月23日 現在)

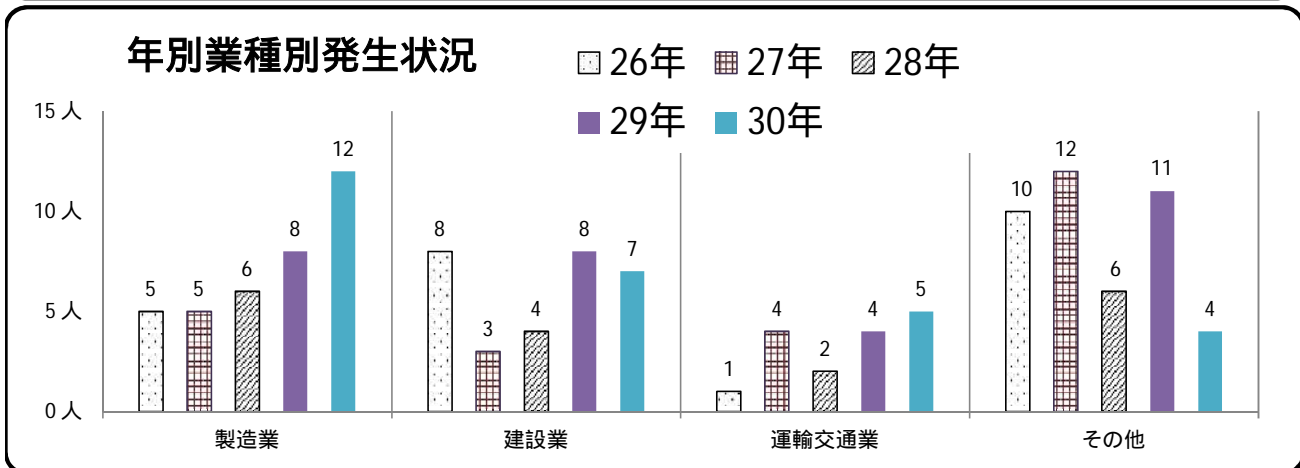
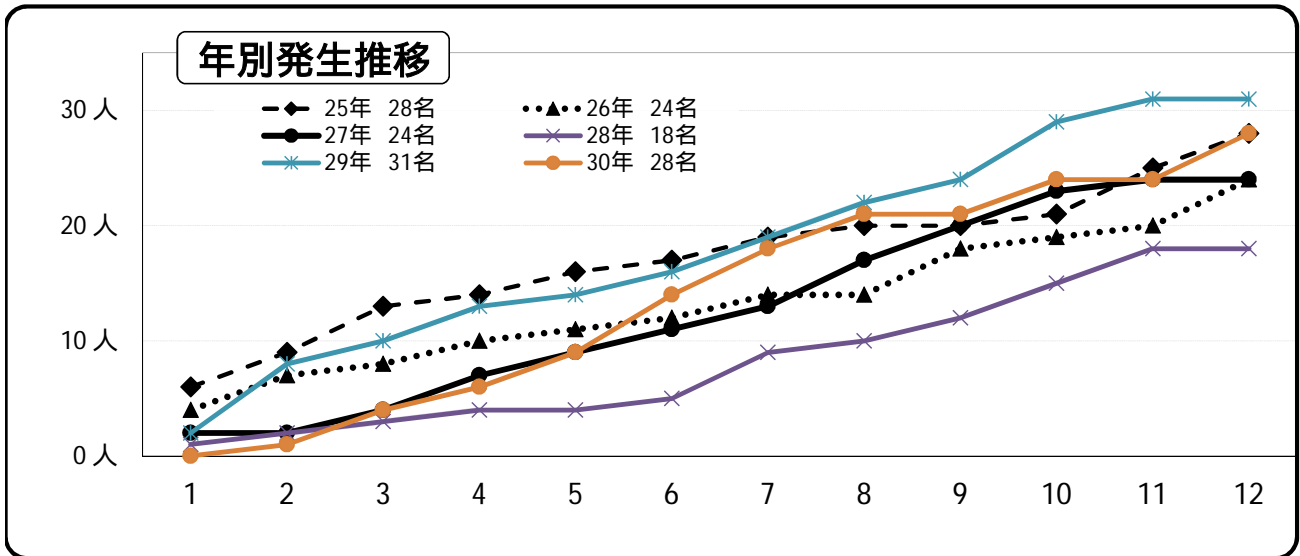
広島労働局

署別	平成29年		平成30年					増減	業種	平成29年 12月末日	平成30年 12月末日	増減率 %
	年間		全産業	製造業	建設業	運輸交通業	その他					
広島中央	7 (1)		10 (1)	3	2	2 (1)	3	3	全産業	31 (7)	28 (2)	-10%
呉	4							-4	製造業	8 (1)	12	50%
福山	9 (5)		6 (1)	2	1	2 (1)	1	-3	建設業	8 (2)	7	-13%
三原	4		6	4	1	1		2	運輸交通業	4 (2)	5 (2)	25%
尾道	2		3	3				1	その他	11 (2)	4	-64%
三次	2 (1)		2		2				内 農林業	1		-100%
広島北	2		1		1			-1	内 商業	4	2	-50%
廿日市	1							-1	内 清掃	1	2	100%
合計	31 (7)		28 (2)	12	7	5 (2)	4	-3	内 その他	5 (2)		-100%

(注1) ()は交通事故で内数。

(注2)業務上外、労働者性等調査中のものを含む。

	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年
全産業	53	41	31	33	70	47	39	35	41	19	31	30	31	28	24	24	18	31	28
製造業	10	7	8	10	17	9	11	6	19	5	10	6	5	5	5	5	6	8	12
建設業	21	18	11	7	23	13	6	12	7	4	7	8	7	9	8	3	4	8	7
運輸交通業	8	7	5	6	16	9	12	8	4	2	4	10	4	4	1	4	2	4	5



平成29年以前は年間確定件数、平成30年については上記最終発生日現在の件数。

平成30年 死亡災害発生状況

広島労働局

	発生月	業種	性別	年齢(十歳代)	職種	経験(年数)	事故の型	起因物	災害発生状況
1	2月	建設業	男	30代	作業員	9	おぼれ	建築物、構築物	ダムの利水放流設備点検用ゲート設置工事のため潜水したところ、放流管の弁が完全に閉じられていなかったため、放流管に流れ込む水に流された。
2	3月	製造業	男	30代	組立工	8	はさまれ、巻き込まれ	射出成形機	射出成形機の出荷前試運転でモーターから異音が発生したので取り外していたところ、プーリーとオイルパンの間にはさまれた。
3	3月	運輸交通業	男	50代	運転者	20	交通事故(道路)	トラック	高速道路上で、事故のため停車しているトラックに、被災者の運転するトラックが追突した。
4	3月	清掃・畜業	男	30代	オペレーター	2.5	有害物等との接触	異常環境等	ドラム破砕機内の金属塊を取り除くため、上部から約3メートル下にある破砕刃まで降り立った直後に意識を失った。ドラム破砕機ホッパー内は破砕時の引火防止のため、窒素ガスが充満し酸素欠乏状態となっていた。被災者は、低酸素脳症を発症し、23日後に死亡した。
5	4月	製造業	男	20代	作業員	3	有害物等との接触	異常環境等	乾式消火設備の送風ファンのバランス調整作業をほぼ終え、作業用の仕切板が外された送風ファンダクト内にて立ち入り、消火用の窒素ガスが充満し酸素欠乏の空気を吸い、意識を失い倒れた。
6	4月	清掃・畜業	男	40代	作業員	6	墜落、転落	開口部	店舗屋上のダクトスペース(ダクトが複数入っている)外壁のガラリの錆取り作業を行っていた被災者が、約2.5m下のダクトスペース地下1階のダクトの上に墜落した。
7	5月	建設業	男	50代	管理者	30	墜落、転落	屋根、はり、もや、けた	平屋住宅の屋根吹き替え工事で、現場監督が屋根にブルーシートをかけていて墜落した。
8	5月	建設業	男	30代	とび工	15	墜落、転落	その他の仮設物、建築物	地下2階の天井部にワイヤ固定吊具などを取り付けるため、土止め支保工の火打部分にクランプ2個を用いて、単管を立てて取り付けた。被災者がよ単管をよじ登り、作業していたところ、単管を固定していたクランプ1個が外れ、単管が倒れ、約4.5m下に墜落した。
9	5月	運輸交通業	男	40代	運転者	20	交通事故(道路)	トラック	ミキサー車で運搬していたところ、橋の欄干を突き破って川に転落した。
10	6月	製造業	男	60代	運転者	6	激突され	金属材料	敷地内において、木製の柱(高さ約3m)に、アンカーボルト(上下2か所)及び、結束バンドで固定していた、鯉のぼり用金属製ポール(高さ1.2メートル、直径5cm)を撤去しようとしていたところ、上部のアンカーボルトを支点にポールの先端が北西方向に倒れ被災者に激突した。
11	6月	製造業	男	20代	作業員	3	激突され	クレーン	クレーンを使用しコンクリートブロック(高さ約2m、幅約1.3m、重さ約1.6t)を横にしようとしたところ、当該コンクリートブロックが転倒して被災者が下敷きになった。
12	6月	製造業	男	70代	作業員	8	激突され	玉掛用具	解体作業場で、チェーンスリング4本の先端のフックをインペラー4個にそれぞれ掛け、クレーンを使用して移動させようとしたところ、インペラーの一つが解体装置格子部分に引っかかり、チェーンスリングのフックがインペラーから外れ、そのフックが被災者の左胸に当たった。
13	6月	建設業	男	60代	運転者	35	はさまれ、巻き込まれ	整地・運搬・積込み用機	スクレイパーの運転手が、運転席から降りて履帯の上に立ち、近くにいたブルドーザーの運転手と話をしていたところ、スクレイパーが動き出して履帯から前方に転落し、両大腿部を履帯に轢かれた。現場は下り勾配(約10%)であった。
14	6月	建設業	男	60代	作業員	30	崩壊、倒壊	その他の仮設物、建築物	土砂崩れ復旧工事において、落石防護壁のH鋼に固定されていた重さ約900kgの敷鉄板が倒れ下敷きになった。現場では、H鋼を立てるため、ロータリーと呼ばれる機械で穴掘りをしていたが、被災者は付近で砂かきの作業をしていた。
15	7月	運輸交通業	男	70代	運転者	30	分類不能	分類不能	タクシーの運転手が豪雨で行方が分からなくなった。その後、川でタクシーが流され手いるのが発見されたが人の姿はなく、5日後沖で遺体として発見された。
16	7月	製造業	男	60代	作業員	35	崩壊、倒壊	地山、岩石	業務が終了し、上司の指示により、自動車と同僚を自宅に送る際、豪雨災害による土砂崩れに同僚とも巻き込まれた。
17	7月	製造業	男	70代	作業員	50	飛来、落下	玉掛用具	天井クレーンで鉄板2枚(合計重量約4.8t)を吊りビームを用いて、玉掛けワイヤーロープを介して6点のハッカーで吊り移動させようとしたが、両端のハッカーが外れて鉄板が被災者に落下した。
18	7月	建設業	男	60代	運転者	37	墜落、転落	移動式クレーン	クレーン機能付きドラグ・ショベルでダンプから土のう(フレコンバック)を降ろしている、ドラグ・ショベルが路肩から転落した。
19	8月	商業	男	30代	その他の職種	1	その他	その他の起因物	土砂災害で走行不能となった自動車をへ搬送するため、レッカー車へ積み込む作業を2名で行っていた。自動車のタイヤには土砂が堆積していたため、被災者はスコップを用いて、取除き作業を開始した。作業開始から10分程度経過した頃、被災者は息切れが激しくなり、車内で休むため、車へ移動する途中で、倒れ死亡した。

	発生月	業種	性別	年齢(十歳代)	職種	経験(年数)	事故の型	起因物	災害発生状況
20	8月	運輸交通業	男	50代	運転者	30	その他	その他の起因物	災害復旧工事現場に使用する土砂をダンプトラックで輸送中、休憩のため高速道路のパーキングエリアに入ろうとしたところ、他のトラックに追突した。
21	8月	製造業	男	30代	作業員	12	墜落、転落	クレーン	船舶のクレーンのメンテナンス用ステージの取付作業中に、ステージ上のはしごを移動させるため、ステージの手すりに安全帯を繋ぎ、はしごを吊り上げたところ、突き出た取付用ステーがステージの手すりに引っ掛かってステージが持ち上がり、被災者と共に1.3メートル下の定盤に墜落した。
22	10月	商業	男	60代	作業員	35	はさまれ、巻き込まれ	フォークリフト	フォークリフトが左折した際、被災者がフォークリフト右側後部と積み上げられた鉄製パレットの間にはさまれた。
23	10月	製造業	男	50代	作業員	0	崩壊、倒壊	金属材料	加工した自動車のギヤボックスの金型(重量約2トン)のさび止めのため、ビニールでラッピング作業中、当該金型が倒れ掛かってきて当該金型の下敷きになった。
24	10月	建設業	男	50代	作業員	19	墜落、転落	整地・運搬・積込み用機	ドラグショベルを使用し、土砂の搬出作業を行っていたところ、高さ約3メートルの法面の小段(犬走り)よりドラグショベルと共に転落し、ドラグショベルの下敷きになった。
25	12月	製造業	男	40代	作業員	0.6	はさまれ、巻き込まれ	乾燥設備	工場燃焼室内にあるロータリーキルンのホイールとバーナーボックスとの間に頭部をはさまれた
26	12月	運輸交通業	男	50代	作業員	30	墜落、転落	トラック	トラック荷台で、パレット積みの段ボールに、緩衝用として段ボールをかましていたところ、荷台の端から足を滑らせ、荷台の端の角で後頭部を打撲した。
27	12月	製造業	男	50代	作業員	30	激突され	アーク溶接装置	溶接対象物(単管パイプを溶接したいかだ状のもの)に激突されて転倒し、体が当該溶接対象物の上ののって運ばれ、進行方向にあったロールに体をはさまれた。
28	12月	製造業	男	30代	作業員	8	はさまれ、巻き込まれ	その他の金属加工用機械	コイル材が転がり落ちることを防止する支柱を取り付けていたところ、アームの稼働範囲に入り、スリッターのリコイラーとアームとの間に頸部をはさまれた。